
平成 24 年度（2012 年度）
吹田市市政モニタリング調査報告書

平成 25 年（2013 年）3 月

吹 田 市

目 次

調査概要	-----	1
標本構成	-----	3
調査結果		
地域との関わりについて		
1. 居住年数	-----	1 5
2. 直前の居住地	-----	1 7
3. 永住意識	-----	1 9
4. ふるさと意識	-----	2 1
第Ⅰ章 「市報すいた」について		
1. 市が発信する情報を得る方法	-----	2 3
2. 「市報すいた」を読んでいるか	-----	2 5
3. 「市報すいた」のリニューアルについて	-----	2 7
4. 「市報すいた」の評価	-----	2 8
5. 「市報すいた」の読みやすさ及び情報量	-----	3 4
6. 市の自主財源確保のための広告掲載について	-----	4 0
第Ⅱ章 吹田市広報番組「お元気ですか！市民のみなさん」について		
1. 広報番組を見たことがあるか	-----	4 5
2. 広報番組を見る頻度	-----	4 6
3. 広報番組を一番よく見る時間帯	-----	4 7
4. 広報番組を見たことがない もしくは最大でも月に1～2回程度しか見ていない理由	-----	4 8
5. 広報番組を見やすい曜日について	-----	4 9
6. 広報番組を見やすい時間帯について	-----	5 0
7. 広報番組の放送時間について	-----	5 1
8. 広報番組の構成について	-----	5 2
9. 広報番組の更新頻度と放送回数について	-----	5 3
10. 広報番組で紹介して欲しい情報について	-----	5 5
11. ホームページでインターネット動画配信している 特集コーナーを見たことがあるか	-----	5 7
12. ホームページでインターネット動画配信している 特集コーナーを見たことがない理由	-----	5 8
13. 動画配信についてどう思うか	-----	6 0
第Ⅲ章 近所付き合いについて		
1. 実際の近所付き合いと望ましい近所付き合い	-----	6 1

2. 同じ小学校区内の家族以外の知人の数	6 2
3. 悩みや不安に思っていること	6 3
4. 悩みや不安を誰かに相談した経験	6 4
5. 悩みや不安を相談した後、誰かの支援を受けたか	6 5
6. 過去3年間、相談・助けを求められたことがあるか	6 6

第IV章 地域活動への参加状況について

1. 地域活動への参加状況	6 7
2. 災害時の避難場所の認知	6 8
3. 災害に備えて取り組んでいること	6 9
4. 地域課題やまちづくりについて話し合う場への参加	7 0
5. 地域情報の入手方法	7 2

第V章 自治会について

1. 自治会の加入率	7 5
2. 自治会の必要性	7 5
3. 自治会の必要性を感じる理由	7 7
4. 自治会加入のきっかけ	7 8
5. 自治会の活動への満足度（自治会加入者）	7 8
6. 自治会の必要性を感じる理由 （自治会加入者・自治会活動に満足）	7 9
7. 自治会活動に不満を感じている人	7 9
8. 自治会未加入の理由	8 0
9. 自治会の必要性を感じる理由 （自治会未加入者・自治会が必要）	8 1

第VI章 コミュニティについての考察

1. 職住近接とコミュニティ	8 3
2. 性別とコミュニティ	8 4
3. 定住指向とコミュニティ	8 8
4. 住居の形態とコミュニティ	9 0
5. 世帯構成とコミュニティ	9 1
6. 地域による住民ニーズ	9 2

第VII章 住宅用火災警報器について

1. 住宅用火災警報器の設置義務について知っていたか	9 5
2. 住宅用火災警報器設置義務の情報源について	9 7
3. 住宅用火災警報器の設置状況	9 9
4. 住宅用火災警報器の設置場所	1 0 1
5. 住宅用火災警報器の購入先	1 0 3

6. 住宅用火災警報器を設置していない理由	1 0 5
7. 火事につながりそうな「ヒヤリ」とした経験の有無	1 0 7
8. 「ヒヤリ」とした経験の具体例	1 0 8

第Ⅷ章 就労状況等について

1. 現在の仕事の有無	1 0 9
2. 就労に対する今後の意向	1 1 1
3. 働きたい（働き続けたい）理由	1 1 3
4. 働きたい（働き続けたい）が、現在、仕事をしていない理由	1 1 6
5. 働きたくない（働き続けたくない）・働く必要がない理由	1 2 0
6. 女性が職業を持つことについての考え	1 2 4
7. 子を持つ母親の望ましい働き方	1 2 6
8. 男女が共に働きやすい社会環境をつくるために、 吹田市が進めるべき施策	1 2 8
9. 子どもの有無	1 3 0
10. 一番下の子どもの年齢	1 3 1

第Ⅸ章 図書館について

1. 図書館の利用頻度	1 3 3
2. よく利用する図書館・最もよく利用する図書館	1 3 5
3. 吹田市立図書館を利用する理由	1 4 1
4. 吹田市立図書館を利用する目的	1 4 3
5. 吹田市立図書館を利用する曜日	1 4 5
6. 吹田市立図書館を利用する時間帯	1 4 7
7. 吹田市立図書館の本、雑誌、視聴覚資料の貸し出し期間	1 4 9
8. 吹田市立図書館の本、雑誌及び視聴覚資料の貸し出し冊数・点数	1 5 1
9. 吹田市立図書館についての満足度	1 5 3
10. 吹田市立図書館のサービスの認知度	1 5 8
11. 望ましい吹田市立図書館のイメージ	1 5 9
12. 吹田市立図書館を利用しない理由	1 6 1
13. 吹田市立図書館以外の図書館を最もよく利用する理由	1 6 3
14. 吹田市立図書館への意見	1 6 5

第Ⅹ章 吹田市の方向性・将来像について

1. 吹田市の施策のうち優れている分野	1 6 7
2. 吹田市が優先して実施すべき分野	1 7 9
3. 吹田市の望ましい将来像	1 9 0

資料：調査に対する意見・感想	1 9 5
調査票・単純集計票	1 9 7

調査概要

1. 調査目的

市民参画のまちづくりのため、市民の意見を伺うことにより、その声を市政に反映することを目的とする。

2. 調査項目

居住地、居住地の小学校区、居住年数、以前の居住地、永住意思、ふるさと意識、「市報すいた」について、吹田市広報番組「お元気ですか！市民のみなさん」について、近所付き合いについて、地域活動への参加状況について、自治会について、住宅用火災警報器の設置状況について、就労状況等について、図書館について、吹田市の方向性・将来像について、属性（年齢、性別、職業、通勤・通学地、配偶者の有無、同居家族、家族数、年収、住宅の種類）、調査への感想

3. 調査対象

- (1) 調査地域：吹田市全域
- (2) 母集団：2012年7月1日現在18歳以上85歳未満の吹田市在住者285,647名
(内訳：日本人281,719名、外国人3,928名)
- (3) 計画標本：2,000名
- (4) 抽出方法：層化系統無作為抽出法

4. 調査時期

2012年8月6日（月）～9月7日（金）

5. 調査方法

郵送調査法（お礼状兼督促状を1回送付）

6. 回収結果

- | | |
|-------------|--------------|
| (1) 回収票数 | 1,097 |
| (2) 無効票数 | 5 |
| (3) 有効票数（率） | 1,092（54.6%） |
| (4) 調査不能票数 | 903 |